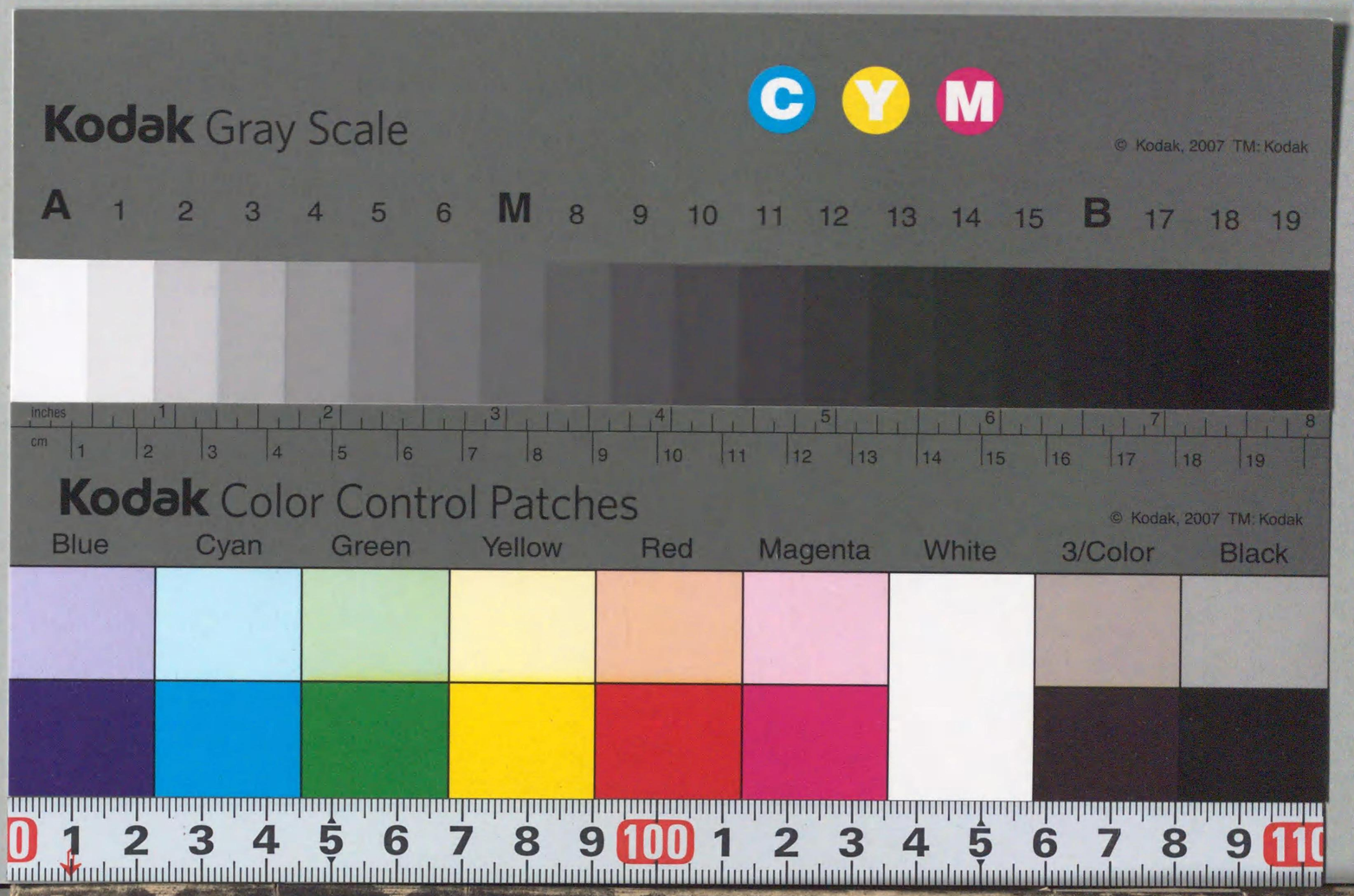

Kodak Gray Scale
C Y M
© Kodak, 2007 TM: Kodak
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19
inches 1 2 3 4 5 6 7 8
cm 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19
Kodak Color Control Patches
© Kodak, 2007 TM: Kodak
Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 100 1 2 3 4 5 6 7 8 9 110

911.145
A
M

帝國圖書館藏書

新令和歌集卷第

帝國圖書館藏書

有隣軒

国立国会
25. 10. 21
図書館

216488

春ごとに
散りもしそめば桜花
いろやまがふの
ふりにしを
見つつながめし
ふるさとの
春も昔の
ものとこそ
なれ

藤原清正

題しらず

貫之

春ごとに
ながめせしまに
ふるものは
わが身にしられ
ける
屏風よりかける

題しらず

春ごとに
花のさかりは
ありなめど
あひ見むことは
いのちなりけり

延喜御時屏風

小野小町

題しらず

花の色は
うつりにけりな
いたづらに
わが身よにふる
ながめせしまに

寛平御時后宮

歌合のうた

きみのよに
あふさかやまの
さねかづら
人にしられで
くるよしもがな

題しらず

伊勢

きみのため
惜しとは思はぬ
いのちさへ
長くもがなと
思ひけるかな

定信

清原元輔

侍

嵐ふきみだりて

侍従

有定信

有家

[illegible]の物とやいひ乱
れ枕中紀言通後
[illegible]乃こゝろをたゝくに
[illegible]
兼雁二年内裏三の今し秋乃ふみを
[illegible]
お中納言通房
[illegible]
[illegible]
[illegible]

秦應之年（遠き南里の字なれ
河水の（逢ふまでをとゝ
けりと
清浦雅望

ゆくゝとのりし
ふなうちもみな
昌泰宣成年頃（へしと
りけり

なゝうらにみつのあまと
ちとせふるいそなれと
ちとせふるいそなれと
夏目甕麿

やとりゆくとまのまも
かすとゝもにきみかよ
家ようこあるをとゝ
のへとをゝなりけり

後後雪屋
きみかよ

かすのやまみやこのかたの
きこのかたのこと考へ
三靡帥時大貳倭中納言
とへしこと

按ずるに

定

有

有

定非

右落

右永

右落

右

高陽宗綿四年

上高院御葉

中よ

左二官

左大史宿禰

道信卿

東三條院

源信明朝臣

東三條院白河よりう

右

右

新女将

新古今和歌集巻第六

離別歌

中納言兼輔

寄船述懐

遣唐使

源重之

高階経重朝臣

有

有

有

有 注非

皇后宮美濃

道信卿

祝部成仲

定家朝臣

新古今和歌集巻第

有登

肥後

菊雄

恵慶

遠平

藤栗

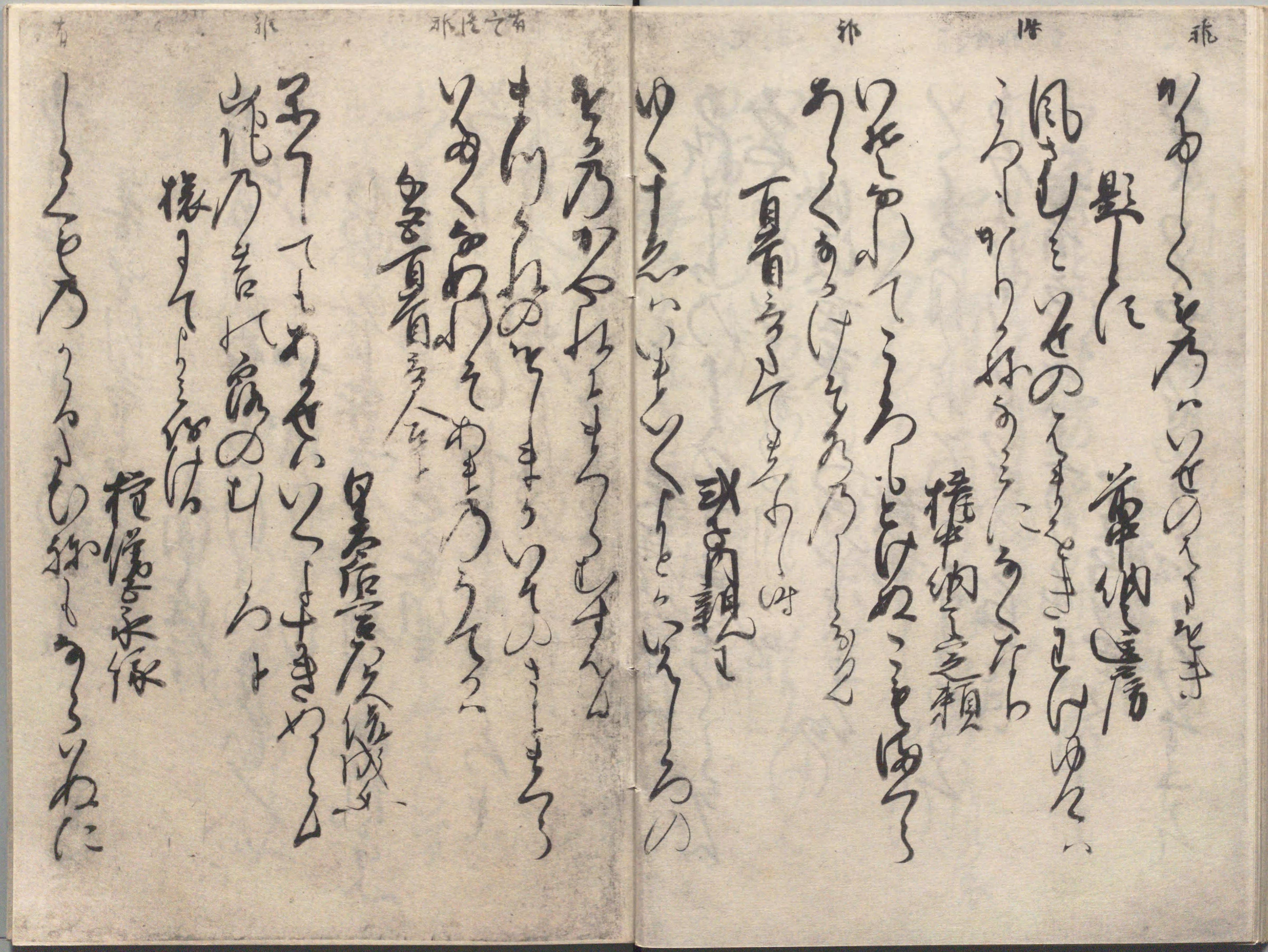
藤原定家朝

藤原家隆

横設参座

宗師

家隆朝臣



和歌所にて祝の心を

前中納言匡房

ももとせをかぎりとみえし
ときはぎの
はるのはじめとなりにけるかな

権中納言
長実

ときはぎのときはなれども
ももとせの
はるにあふこそ
ためしなりけれ

草深き野辺の秋萩
いたづらに
ちるをあはれと
いふ人もがな

藤原秀能

萩の露

有家朝臣

石清水
```
```

藤原秀清

藤原家清

藤原秀能

定家卿

新古今和歌集巻第一

春歌上

題しらず

遍昭

有定法師

僧

ふるさとの春の山辺にうちふせばかすみをわけて花ぞちりくる

定法師

人麿

あしひきの山鳥の尾のしだり尾のながながし夜をひとりかもねむ

有定法師

僧

いにしへの奈良の都の八重桜けふ九重ににほひぬるかな

在原業平朝臣

定

世の中にたえて桜のなかりせば春の心はのどけからまし

中将実家

定

ちはやぶる神代もきかず竜田川からくれなゐに水くくるとは

定

中納言

坂上是則

藤原興風

有值朋

定

凡河内

定

源宗于朝臣

定

中納言朝忠

人をこそ見てもかくとも言の葉の
なきにつけても恨めしきかな

大貳高遠

みそぎする河瀬の浪のいかなれば
思ふ心のなほきなるらん

謙徳公

こひしさのそのよの夢をたのまずは
うきまぎれにやみもしなまし

左將軍朝光

夢路にも人目をよくと見しものを
うつつにだにも逢ふよしもがな

謙徳公

あふことをいのちにかへてをしからぬ
身にしたへばぞ人はつらかる

權中納言定頼

あふまでの形見ばかりと見しほどに
いのちにかへてなげきつるかな

謙徳公

あはれとも言ふべき人は思ほえで
身のいたづらになりぬべきかな

定

定

平流寺後

有定修

有恭

深養父

藤原惟幹

藤原義孝

和泉式部

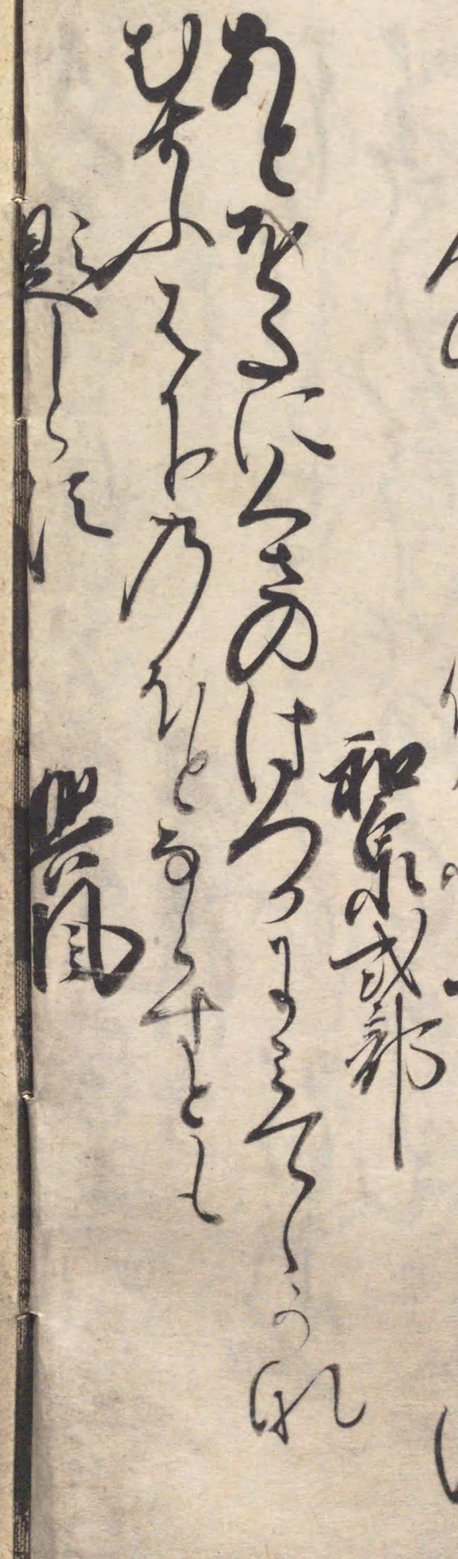
源重之

清原元輔

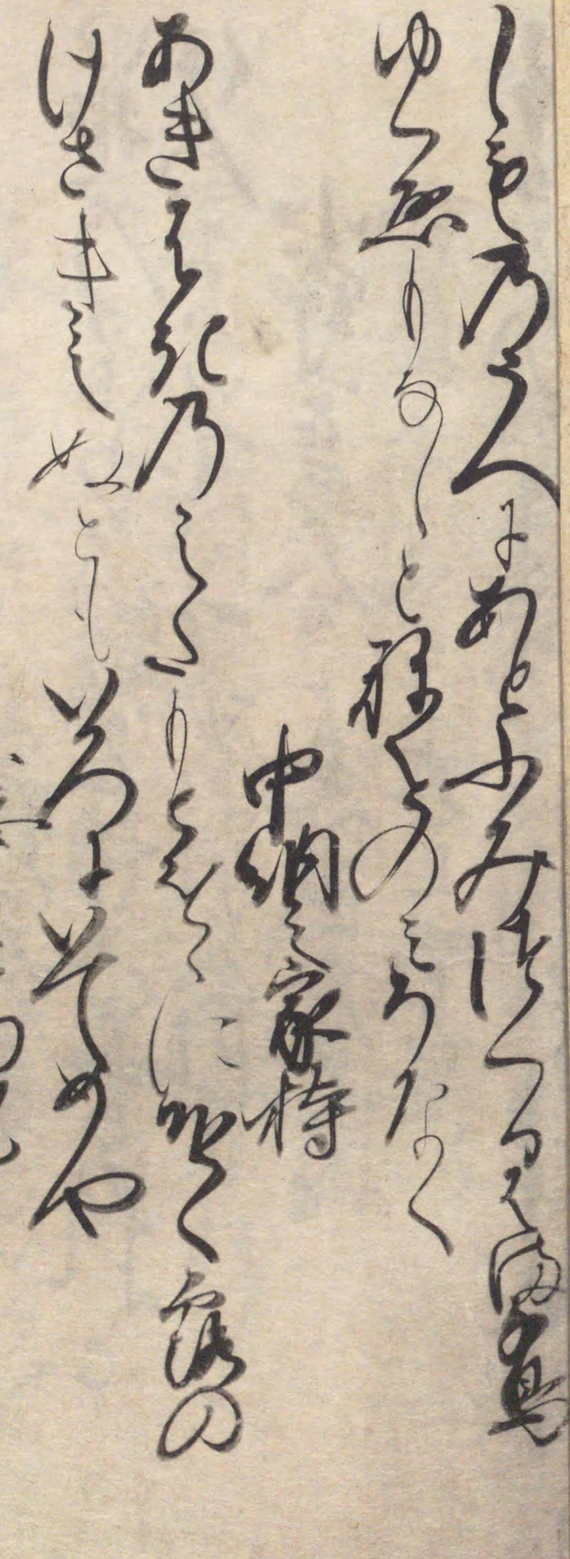
有定陰

陰

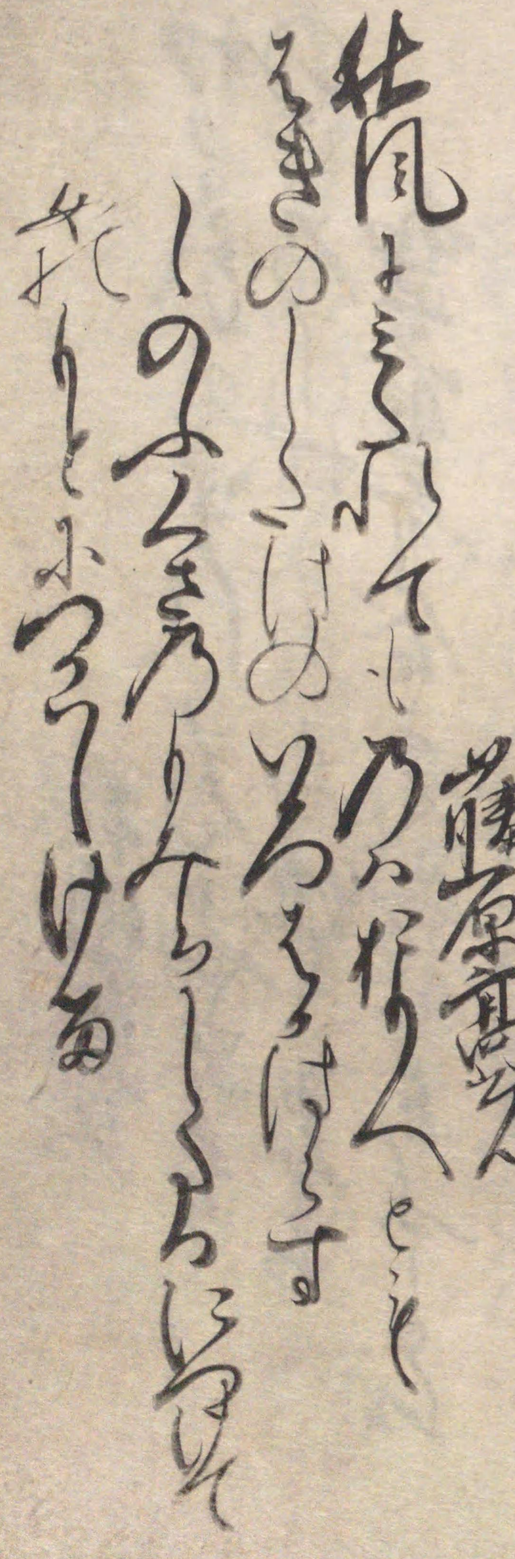
有定陰



有定陰



定陰非



わらひもまたまつ
のまうちすゝりて
聖霊前二哥合よ
花園左大臣
うつせみの神もまも
れる火恵をとゝまつ
とや

ほうつきのそらに
郭公哥合よ
権大納言
郭公すきやすきと
もきゝしらぬ
まつこひやまさる
ものとはよに

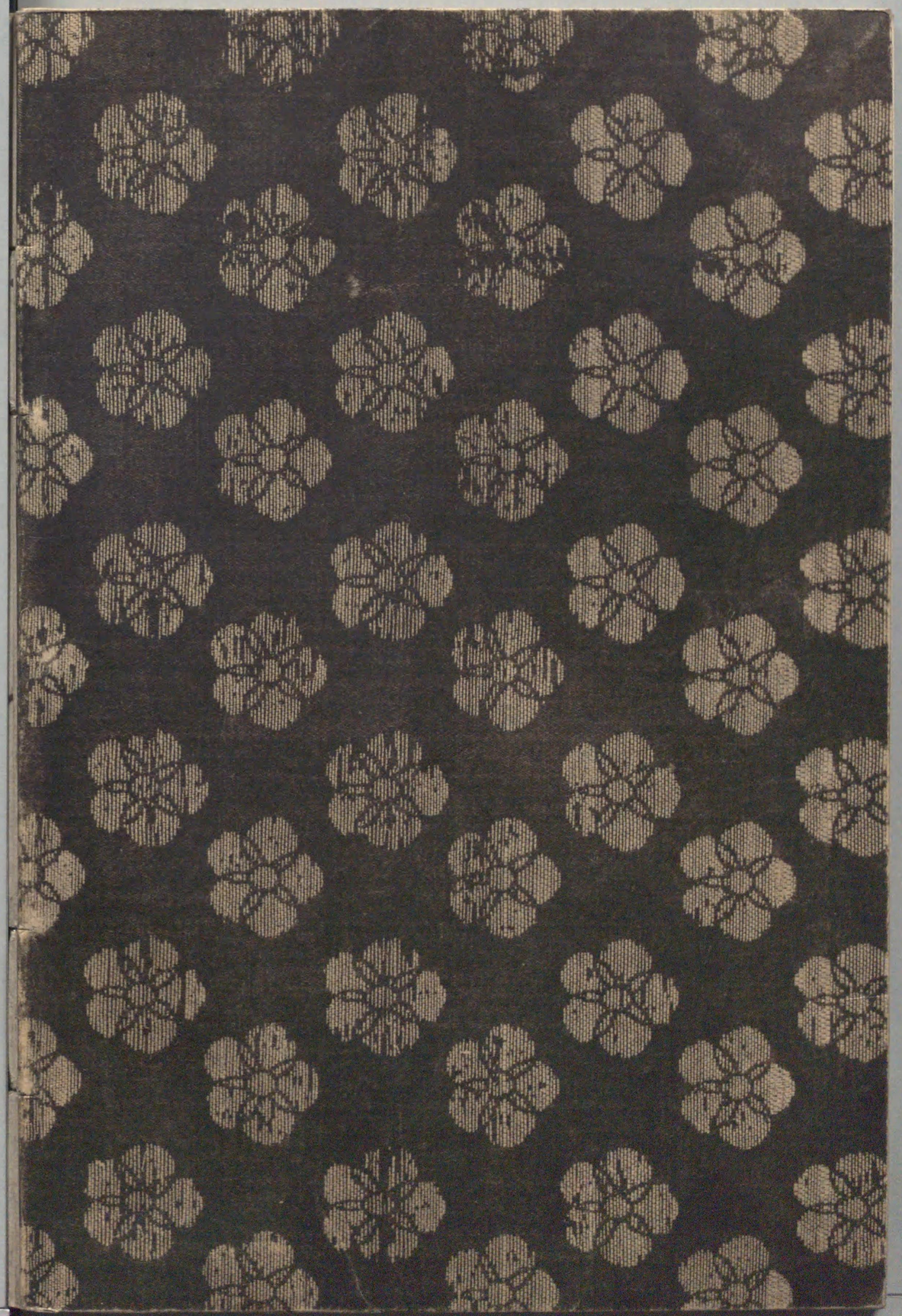
秋霧そ
まよひつゝ風
家恋哥合
権大納言
うつせみのもぬけ
りのあをうつを
寒蓮法師

ものともうそのい
盲ふうまつ

有陰

有陰

定

定

定